



The TKF TIMES

高崎経済大学附属高校新聞部 6月12日(金)発行 6月号①

米国大使館領事 来校

外交官の仕事に迫る

平成二七年六月二日(火)に米国大使館領事部の方々が本校を訪れ、外交官やアメリカ合衆国、ビザについての講演会を行い、その後は一・二年文系オナークラスや希望者とのディスカッションを行った。
また今回、領事部のコリンさんに外交官の仕事に伴う困難や経附生に伝えたいことについて取材を行った。世界で活躍するグローバル人材であるコリンさんは何を語ったのだろうか。

六月二日の六校時目に、東京にある米国大使館から大使館領事部副ビザチーフのコリンP.フアーストさん、通訳役として領事部の安田圭比子さんが来校し、大使館やビザについての講演会が開かれた。

講演会は、米国大使館の役割や組織構成、ビザなどに関する説明をコリンさんが英語で行い、安田さんが通訳をするという形で進められた。講演の内容は、他にもアメリカの風土やコリンさん自身の趣味など多岐にわたり、その中でアメリカ留学に関する説明もあった。コリンさんは留学について「海外に行き、そこで学ぶことによって新たな視点で日本を見ることができ、アメリカは世界中の人々が集まる国であり、たくさんの方々が触れるチャンスがあるからだ」と熱く



▲ 面接の実演の様子

を生徒たちに伝えていた。そして講演後の七校時目には1・2年文系オナークラスと希望者がコリンさんとディスカッションを行った。そこではコリンさんが自身の経歴を話し、その後、生徒が質問をしたり、意見交換を行ったりした。参加した白井友弥君(2年)にディスカッションの感想を伺うと「留学前には何を

Mr. Corin Q&A

Q 外交官の仕事で大変なことは何ですか。

A 外国に出ているアメリカ人の救助にあたる時、不運が原因で、外国にいるアメリカ人が亡くなってしまう、その人の家族に「あなたの家族は亡くなりました」と伝えるのが非常に辛く、胸が痛む。

Q 外交官の仕事で誇りに思うことは何ですか。

A 誇りに思うことは、アメリカ人の被害者の家族が困っているとき、情報を提供したり、助けたりできた際にその家族が感謝してくれたことだ。また、自国の代



▲ 質問に答えるコリンさん

質問に対してコリンさんがぜひ educationUSA に相談してみしてほしい、と答えていたのを聞いて、そういう

勉強すればよいか、ということも相談できる機関なのかと知ることができたのでとても勉強になりました。」と答えてくれた。



▲ 熱弁するコリンさん

表として仕事をしているのだと実感できるときは非常に誇らしい気持ちになる。

Q 外交官に必要な素質は何ですか。

A 文章を書く能力、人に伝える能力が非常に重要だと思う。また、行動力や好奇心、探究心、誠実さを持っていることも他国の人々と交流するうえで重要だ。そして、忠誠心も重要だと思う。なぜなら上司や国の考えと自分の考えに違いがあるときも、上司や国の考えを優先して仕事を行うことが必要だからだ。

Q 最後に経附生に一言お願いします。

A もし将来学生ビザや就

ことも相談できる機関なのかと知ることができたのでとても勉強になりました。」と答えてくれた。講演会は、コリンさんが話す英語に真剣に耳を傾けている生徒が多く見られ、経附生の英語に対する関心の高さがうかがえた。この貴重な体験を機に、多くの生徒がアメリカや留学について興味を持ち、英語の授業や海外研修に意欲的なことを願う。(長澤)

高校総体 ニュース

陸上部 快進撃!

平成二七年五月二日(水)から四日(日)にかけて正田醤油スタジアム群馬で県高校総体陸上競技が行われ、本校の陸上競技部が参加した。(千葉)

本校の陸上競技部は例年の総体で好成績を残してきたが、今回もその期待に恥じることはない見事な活躍を見せた。
まず男子では田代寛治くん(3年)が砲丸投げで一位・円盤投げで八位、また

山崎拓朗くん(3年)がハンマー投げで六位に入賞した。そして女子では新井結葉さん(2年)が走り高跳びで五位、田中里実さん(2年)が一〇〇メートルハードルで七位、磯田真妃さん(3年)が八位に入賞した。

今回の大会では多くの部員の活躍で、高経附の陸上部の存在感を一段と高めた。今年も多くの部員を獲得したことで、これからの活躍からも目が離せない。また田代くんや新井さんに関東大会にも出場することになり、そこで二人の更新記録更新に期待したい。

男子

男子は浜川体育館において総参加組数三百組を超える激戦を戦い、狩野祥希くん(3年)・佐野匡美くん(3年)ペアがベスト64まで勝ち進んだが、善戦むなしく第3回戦で敗退した。



女子

女子は群馬アリーナにおいて同じく三百を超えるペアの中を戦い、今竹遙花さん(3年)・堀口奈穂さん(3年)ペアと狩野莉子さん(2年)・高橋朋子さん(2年)が2試合を勝ち抜き、第3回戦に駒を進めるも惜しくもそこで敗退した。

経附主義 TKFism

日本ではついに全国的に梅雨が訪れ、雨具をよく使う季節になった。そんな少し面倒な雨だが、ふと疑問に思うのが「雨の中では歩いたほうが濡れるのか、走ったほうが濡れるのか」である▼この問題は多くの学者に意見されており「どちらにも変わらない」と「全力で走ったほうが濡れない」など、様々な見解が出される。

インターハイ予選 バドミントン部

五月三十日(土)から三十一日(日)にかけて全国高等学校総合体育大会(通称インターハイ)の群馬県予選個人戦が行われ、本校の男女バドミントン部が参加した。(千葉)